

## 久喜市いちょうの木 事業報告

平成 30 年度事業計画に基づき、以下の事業を行いました。

### 1 利用状況と職員体制（平成 31 年 3 月 31 日）

#### （1）利用定員の充足

定員 40 名 現員 41 名（男性 27 名、女性 14 名）

#### （2）利用者の状況

##### ア 年齢構成

年齢	～19	20～24	25～29	30～39	40～49	50～59	60～	平均
男性	0	0	1	16	6	3	1	39.6
女性	0	0	1	6	4	3	0	40.4
計	0	0	2	22	10	6	1	40.0
%	0	0	4.8	53.8	24.4	14.6	2.4	

##### イ 障害程度区分

区分	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	計	平均区分
男性	0	8	6	13	27	5.2
女性	0	3	5	6	14	5.2
計	0	11	11	19	41	5.2
%	0	26.8	26.8	46.4	100	

##### ウ 療育手帳及び身体障害者手帳の所持状況

	療育手帳				計	身体障害者手帳					計
	㉠	A	B	C		1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	
男性	20	7	0	0	27	2	2	1	0	0	5
女性	10	3	1	0	14	3	1	0	1	0	5
計	30	10	1	0	41	5	3	1	1	0	10
%	73.2	24.4	2.4	0	100	50	30	10	10	0	100

##### エ 利用率の状況

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開所日数	21	22	21	22	23	19	23	22	20	20	19	21	253 日
延利用人数	796	821	803	815	838	71.3	866	800	627	724	690	758	9,251 人
利用率 %	94.8	93.3	95.6	92.6	91.1	93.8	94.1	90.9	78.4	90.5	90.8	90.2	91.4%

#### （3）職員体制

職 種	配置人数	備 考
施設長	1	サービス管理責任者兼務

主査支援員	1	相談支援専門員兼任
主任支援員	1	
生活支援員	14	常勤 12 名 非常勤 2 名
看護師	1	法人内他事業所兼務
栄養士	1	法人内他事業所兼務
事務員	1	
運転員	2	
計	22	

## 2 事業内容

### (1) 利用率の向上

昨年度と比較すると約 3%の低下となりました。理由については以下の 3 つのことにあります。

① 退所者 1 名 ② 入院 2 名 ③ 12 月にインフルエンザ罹患者の蔓延

とりわけ、インフルエンザの罹患状況は拡大が激しく、12 月の利用率は 78.6%となり月平均を大幅に下回っている状況となりました。

### (2) 基本事業

ア 日常生活支援（移動、着脱衣、排泄、食事、歯磨き、清掃の支援介助）

利用者の尊厳を守ることを心掛けながら過不足のない支援を行いました。個別支援計画に基づき状態の変化に対応した取り組みに努力しましたが、加齢等による身体機能の低下が顕著に見られる人が多く、引き続き、障害の重度化・重症化による生活の質の低下を防ぐための専門的取り組みが課題です。

イ 社会生活支援

個人の持つ強みと意思に着目した取り組みの工夫を行いました。

(ア) 作業活動（資源回収、下請作業、自主生産）

昨年度に比べ収入減になりました。作品販売による収入は増えましたが、内職作業による収入の減が顕著となりました。12 月に十分な作業時間が確保できなかったことと受託作業が途切れたことが理由です。

工賃収入実績は、下表の通りです。

支給日	8 月 10 日	12 月 10 日	H31 年 4 月 10 日	年間合計
支給額	156,550 円	264,880 円	129,721 円	551,151 円
平均支給額	3,727 円	6,307 円	3,089 円	13,123 円
最高支給額	4,200 円	7,324 円	3,696 円	15,220 円
最低支給額	50 円	215 円	0 円	265 円

(イ) 地域交流

#### ① 地域交流行事

- 清久さくらまつり（自主製品販売）
- 人権の集い（作品展示 ※久喜地区、鷺宮地区、菖蒲地区）
- いちちょうの木まつり（自主製品販売、模擬店、バザー、ステージ発表等）
- ホットハートフェスティバル（自主製品販売）

- いちょうの木だより (年 3 回発行)
- 清久コミュニティ協議会 (年 4 回 ※地区の除草、防災訓練)
- 73 区自主防災協議会 (防災訓練、区民まつり)

②見学者・実習生の受入れ

<見学者の受け入れ>

月 日	所 属	人 数
平成 30 年 4 月 18 日	利用希望者	1 名
平成 30 年 6 月 5 日	騎西特別支援学校 保護者	4 名
平成 30 年 6 月 14 日	ライフレッサ職員	3 名
平成 30 年 7 月 10 日	久喜特別支援学校 生徒・教員	14 名
平成 31 年 3 月 5 日	久喜特別支援学校 保護者	4 名
計		26 名

<実習生の受け入れ>

学校等所属	内 容	期 間	人数
東萌短期大学	保育実習	平成 30 年 5 月 14 日～平成 30 年 5 月 25 日	2
久喜看護専門学校	看護実習	平成 30 年 5 月 28 日～平成 30 年 6 月 1 日	1
久喜看護専門学校	看護実習	平成 30 年 6 月 18 日～平成 30 年 6 月 22 日	1
共栄大学	介護等体験実習	平成 30 年 8 月 6 日～平成 30 年 8 月 10 日	1
共栄大学	介護等体験実習	平成 30 年 8 月 13 日～平成 30 年 8 月 17 日	1
女子栄養大学	介護等体験実習	平成 30 年 8 月 13 日～平成 30 年 8 月 17 日	1
久喜看護専門学校	看護実習	平成 30 年 9 月 3 日～平成 30 年 9 月 7 日	1
文教大学	介護等体験実習	平成 30 年 9 月 10 日～平成 30 年 9 月 14 日	1
久喜看護専門学校	看護実習	平成 30 年 9 月 18 日～平成 30 年 9 月 21 日	1
久喜看護専門学校	看護実習	平成 30 年 10 月 1 日～平成 30 年 10 月 4 日	1
久喜看護専門学校	看護実習	平成 30 年 10 月 9 日～平成 30 年 10 月 12 日	2
桐朋学園大学	介護等体験実習	平成 30 年 10 月 22 日～平成 30 年 10 月 26 日	1
東京国際大学	介護等体験実習	平成 30 年 11 月 26 日～平成 30 年 11 月 30 日	1
文教大学	介護等体験実習	平成 30 年 11 月 26 日～平成 30 年 11 月 30 日	1
共栄大学	介護等体験実習	平成 30 年 12 月 3 日～平成 30 年 12 月 7 日	1
文教大学	介護等体験実習	平成 30 年 12 月 10 日～平成 30 年 12 月 14 日	1
東京未来大学	介護等体験実習	平成 30 年 12 月 10 日～平成 30 年 12 月 14 日	1
共栄大学	介護等体験実習	平成 30 年 12 月 17 日～平成 30 年 12 月 21 日	1
文教大学	介護等体験実習	平成 30 年 12 月 17 日～平成 30 年 12 月 21 日	1
延べ 19 校		延べ日数 108 日	21 名

<研修生の受け入れ>

行田特別支援学校教員 (1 名) 平成 30 年 8 月 2 日～平成 30 年 8 月 3 日

(ウ) 表現活動

創作作品が認められ、さいたま市のソニックシティで開始された埼玉

県障害者アートネットワーク展覧会で展示されました。また、出展者がトークショーにも選ばれ作品に対する想いを見学者の前で発表することができました。言語で意思を発信することが苦手な人が作品や身体活動を通して想いのままの表現で意思を発信することのできる取り組みとして今後も活躍の場を創り出していきたいと思っております。

ウ 余暇活動支援

下表のとおり計画通り実施しました。

<日帰り旅行（茨城県自然博物館）>

月 日	利用者	職員	ボランティア
平成 30 年 9 月 7 日	10 名	6 名	0 名
平成 30 年 9 月 21 日	10 名	5 名	1 名
平成 30 年 9 月 28 日	11 名	6 名	1 名
平成 30 年 10 月 5 日	9 名	5 名	1 名

<社会体験外出>

月 日	内容・行き先	利用者	職員
平成 30 年 9 月 3 日	(株) ヤクルト茨城工場見学	4 名	2 名
平成 30 年 10 月 10 日	ネーブルパーク (BBQ)	3 名	2 名
平成 30 年 10 月 12 日	東武動物公園	3 名	2 名
平成 30 年 10 月 15 日	ネーブルパーク (BBQ)	4 名	3 名
平成 30 年 10 月 24 日	ネーブルパーク (BBQ)	4 名	3 名
平成 30 年 11 月 19 日	川越散策	4 名	2 名
平成 30 年 11 月 22 日	上野動物園	3 名	2 名
平成 30 年 11 月 28 日	川越散策	4 名	2 名
平成 30 年 11 月 30 日	上野動物園	2 名	1 名
平成 31 年 3 月 1 日	ららぽーと富士見	3 名	2 名
平成 31 年 3 月 14 日	羽田空港	5 名	4 名

エ 相談援助支援（利用者、家族との個別相談）

(ア) 個別面談の実施

個別支援計画における説明と同意のための面談時に、支援の在り方のほか、生活状況での困りごとや今後の不安等について相談を受ける時間を設けました。

(イ) サービス要望書の協力

2月にサービス要望書を配布し「運営全般に関すること」から「支援全般に関すること」についての聞き取りを行いました。41名のご家族に配布し27名からの回答を頂きました。要望の傾向としては、例年同様となる「健康管理に関すること」や「ADLの維持、向上に関すること」「建物の改修」への意見・要望が多くありました。また、今年は「親亡きあとの生活」についての不安を募らせたことが書かれていたことが特徴でした。

(ウ) 日常の支援の関わり

毎日の関わりから悩みや困りごと、希望などを聞く機会をつくって一緒に解決に向けた話し合いを行いました。

オ 健康管理支援（日常健康支援、内科・精神科嘱託医訪問、健康診断）

(ア) 健康診断を年2回行いました。所見のあった利用者については、家族と相談し活動の見直しや医療機関との連携を行い必要な医療的支援のサポートを行いました。

(イ) 内科嘱託医による講話の研修会を行いました。保護者11名と職員3名が参加し支援の参考としました。

(ウ) 慢性疾患のある人や虚弱な人については、栄養や水分、排泄等の適切な管理を行って状態の変化を見極めるようにしました。

カ 人材育成

下表のとおり、研修を実施しました。

<外部研修>

研修名	主催	期日	参加者
埼玉県サービス管理責任者研修	埼玉県	平成30年 6月5、8日	大関晃代
関東地区知的障害者福祉関係者職員研究大会	関東地区 知的障害者福祉協会 東京都 発達障害支援協会	平成30年 7月12、13日	中村秀樹
埼玉北地区自主製品展覧会及び制作研修会	埼玉北地区 自立支援協議会	平成30年 10月2日	菅原由華
関東地区代表者会議	関東地区 知的障害者福祉協会	平成30年 10月18、19日	中村秀樹
普通救命救急講習	清久地区 コミュニティ協議会	平成30年 11月3日	大津政裕 神田楓也 矢作 存
日中活動支援部会全国大会	日本知的障害福祉協会	平成30年 11月29、30日	中村秀樹
施設長及び幹部職員研修	埼玉県 発達障害福祉協会	平成31年 1月29日	中村秀樹
強度行動障害支援者養成研修	埼玉県	平成31年 2月3、10、17、24日	入江佳奈子

<内部研修>

研修名	期日	参加者
意思決定の在り方とは	平成30年5月24日	常勤職員
自閉傾向のある人の特徴について	平成30年8月2日	常勤職員
障害特徴の理解について	平成30年11月28日	常勤職員

障害は個性	平成 30 年 12 月 26 日	常勤職員
権利擁護・虐待防止について	平成 31 年 1 月 23 日	常勤職員
意思決定支援について (主任・主査対象法人研修)	平成 31 年 2 月 7 日	多田 進 平山純子
虐待防止研修 (法人研修)	平成 31 年 3 月 4 日	常勤職員
歯科研修 (法人研修)	平成 31 年 3 月 7 日	平山純子

#### キ 危機管理

##### < 総合避難訓練 >

平成 30 年 9 月 20 日 地震火災災害想定(総合訓練 ※消防署立ち会い)

平成 30 年 3 月 20 日 火災災害想定 (総合訓練 ※消防署立ち会い)

##### < シェイクアウト訓練 >

平成 30 年 7 月 5 日

##### < 地元 73 区自主防災組織との合同訓練 >

平成 30 年 11 月 25 日 避難訓練・消化訓練・炊き出し訓練等

##### < 防災設備の整備 >

火災通報連動システムの整備

### (3) 自主事業

#### ア 送迎サービスの実施

公用車 3 台、5 ルートで対応しました。利用された人は 31 名です。送迎サービスの利用が必要になりつつある人が増えてきていることや送迎時間に要する時間が長くなることによる活動時間への影響が課題になっています。

#### イ 土曜開所

利用の実績状況については下表の通りです。※昨年度比：-14 人

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用人数	27	26	なし	26	なし	24	39	24	18	26	なし	25	236 名

#### ウ 久喜市日中一時支援事業

利用実績については下表の通りです。※昨年度比：-16 人

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用人数	4	4	4	4	5	5	4	4	1	0	0	1	36 名

#### エ 夏季期間中の開所

夏季期間中の利用実績。 8 月 13 日～8 月 15 日 延べ 92 名

#### オ 時間延長受け入れ

送迎時間の変更により 16:30 頃まで利用される人が増えてきています。

16:30 以降の時間延長利用者は 3 名でした。

#### カ 歯科検診・ブラッシング指導

12月予定していた久喜市歯科医師会による歯科検診・ブラッシング指導はインフルエンザの罹患者が多いため中止となりました。3月4日に行われた歯科講習会には利用者3名、職員1名、保護者3名が出席しました。

#### キ 作業療法士訪問指導

7月と2月に訪問してもらい、個別に身体機能の評価や適切で効果的なアプローチの在り方について相談し、アドバイスを頂いて毎日の支援に取り入れました。これまでの取り組み方に加え、加齢からくる機能の低下に応じた取り組み方を指導されるなど、新たな気付きにつながりました。また、全般的な傾向として機能の低下が見られ始めているとの評価で、引き続き、今後の生活環境も含めた家族との話し合いの必要性を勧められました。

### 【今後の課題】

#### (1) 障害の重度化・重症化への対応

加齢による障害の重度化・重症化が顕著になってきました。高い専門性と同時に人手不足が課題となってきました。高い介助スキルの獲得と専門的知識の習得、障害特性に合った環境設定について学び実践していく総合的な支援力が求められています。

#### (2) 親亡き後の生活の準備

親の高齢化等により急な生活の変化に対応しなければならない家庭が増えてきています。短期入所による受け入れも困難な状況があり遠方の施設を利用するなどして対応しています。とりわけ、支援の困難な人や介護度の高い人の受け入れ先は少なく、急な用事が発生した時だけに限らず、日頃からの利用も難しいのが現状です。このことを踏まえ、親が元気なうちに安心できる施設の選択や本人の意思確認、成年後見制度等の制度活用の準備について相談していくことが必要となっています。

#### (3) 活動体制の見直し

- ア 送迎に伴い、利用者の登降時間の幅が広がっています。また、新たに送迎サービスの利用を必要とする家族も増えてきています。そのため、活動時間の安定した時間を確保することなど日課全般の再考を行っていきます。
- イ 活動班の編成による職員の負担の偏りが出てきています。同時に支援の質そのものにも影響があるため、利用者の身体面、能力面、意思確認の再アセスメントをして活動編成に取り組みます。